

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
2 スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (1)スポーツの楽しさを知る機会の創出						2-1-1(1)							
1	2-1-1(1)			健康教育	区民の健康の保持・増進を図るため、生活習慣病予防等の講演会を開催する。	○精神保健講演会 2回 ○健康づくり講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 7回 ○健康スキルアップ教室 8コース ○ウォーキング教室 48回開催	✓	-	✓	-	こころの健康づくり、生活習慣病予防、運動のきっかけ作りと運動習慣の継続等を目的として実施した。約8割の参加者が教室前後で動機が高まっていた。	保健サービスセンター	保健指導係・内線2855 本郷支所・内線2850
2	2-1-1(1)			オリンピック・パラリンピック教育推進事業 一日校長先生	小・中学校において、一日校長先生(こころのプロジェクト夢の教室事業)を実施する。平成27年度から平成29年度まで、1か年に小・中学校10校ずつ、3か年で全30校にて実施する。	小学校・中学校の10校において実施	-	✓	-	-	小・中学校において、一日校長先生を実施することで、子どもたちが将来の夢をもつことにつながっている。	教育指導課	教育指導課 内線3541
2 スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (2)スポーツ観戦の場と機会の拡充						2-1-1(2)							
調査結果Bは該当事業なし													
2 スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (3)プロスポーツ等団体との連携・協力						2-1-1(3)							
調査結果Bは該当事業なし													
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (1)スポーツを楽しむ人を増やす						2-2-1(1)							
3	2-2-1(1)			①介護予防講演会 ②介護予防展 ③介護予防出前講座	高齢者を対象に介護予防普及啓発事業を実施する。	実施回数、参加者数 ①年3回(6月、11月、2月)、447人 ②年1回(3月)、1,334人 ③年3回(依頼により実施)、158人	✓	-	-	-	・講演会では、難聴対策・ロコモ予防・認知症予防をテーマとし、多くの区民に介護予防の必要性を啓発することができた。今後も高齢者が関心のあるテーマを取り上げ聴講者の行動変容につなげ、介護予防に取り組むきっかけとしていく。	健康推進課	介護予防係・内線3350
4	2-2-1(1) 2-3-1(4)		教03-01	健康・体力増進事業	大学等と連携し、区立幼稚園・小学校における運動能力調査結果に基づき、指導員等を派遣する。また、健康トレーナーによる巡回相談や健康教室の開催、がん教育に関する授業及び講演会を行う。	健康トレーナーを全20校の小学校へ派遣し健康相談を行った。大学と連携し幼稚園10園で体力テストを実施し活用した。小中17校へ医師や教授等を派遣しがん教育を実施した。がん教育シンポジウムを実施し、34名の来場があった。	-	✓	✓	-	健康トレーナーや体力向上アドバイザーの派遣により、各幼稚園・小中学校の健康課題が改善されている。保護者へも啓発していくことが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (2)多様なニーズに対応するプログラムの提供						2-2-1(2)							
5	2-2-1(2) 2-2-1(4)			スポーツ活動への参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレクリエーションに関する機会を提供する。	心身障害者・児通所施設合同運動会 10月6日(土)開催 区内10施設 参加者数 652人 参加大学: 真静学園短期大学	-	-	✓	-	平成27年度から若さみなぎる真静学園学生の参加により、運動会を盛り上げている。学生にとっては、障害者と接する学びの機会となっている。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
6	2-2-1(2)			①複合型プログラム事業 ②訪問型プログラム事業	平成30年4月1日現在介護認定を受けていない75歳以上84歳以下の方に「健康質問調査票(基本チェックリスト)」を送付し、調査票の回答結果から、生活機能の低下がみられる方を対象に短期集中予防サービスを実施する。	実施回数、参加者数、延べ参加者数 ①1,056回、307人、6045人 ③0回、0人(希望者なし)	-	-	✓	-	・基本チェックリストにより生活機能の低下が見られる方に対し、運動をメインに、栄養と口腔を合わせた複合型プログラムを短期間に集中して行うことにより機能の維持向上を図り、要介護状態となることの予防につながった。 ・今後も対象者に対し事業の必要性を伝え、参加を促す必要がある。 ・教室終了後も運動を継続することで効果が維持できるため、文の京介護予防体操や通いの場など様々な介護予防活動への参加を促していく。	健康推進課	介護予防係・内線3350
7	2-2-1(2)			①文の京介護予防体操事業 ②転倒骨折予防教室 ③尿失禁予防教室 ④認知症予防教室 ⑤膝痛腰痛予防教室 ⑥複合型介護予防教室	高齢者を対象に介護予防教室を実施する。	実施回数、参加者数、延べ参加者数 ①1,082回、1,024人、31,149人 ②305回、232人、3031人 ③4回、71人、89人 ④390回、471人、4,377人 ⑤10回、200人、200人 ⑥96回、160人、1580回	-	-	✓	-	・①は高齢者がいつでも気軽に運動を行えるよう区内の地域会場で、申込不要の自由参加型で通年実施している。30年度は14会場で開催し、参加人数が増えた会場は、入替で1日2回行う二部制と対応している。 ・②～⑥は区報で申込みとしており、毎回多くの申込みをいただいている。 ・いずれの事業も、多様なメニューを用意することで多くの区民が介護予防の取組を行う機会となっているが、主な会場が区有施設であるため、会場確保が課題である。	健康推進課	介護予防係・内線3350

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
8	2-2-(2)			健康・体力づくりのための事業の充実(公害保健福祉・予防事業)	区民の健康・体力づくりを支援するための事業を実施する。	・呼吸器健康講座→ 4回開催 86人参加 ・公害認定患者等に対する水泳奨励事業 → 区内体育施設のプールを延べ538回利用 ・ぜん息児水泳教室→ 15回開催 延べ236人参加	-	-	✓	-	・呼吸器健康講座は前年に比べて参加者減少傾向にあり。今後も新規参加者の増加を促すためにテーマの設定等工夫をしていく。また参加者に対して、開催日についてのアンケートを実施した結果、仕事の都合等で土日開催を要望する声が見られた。翌年度以降は土日開催を視野に入れて検討を進める。 ・ぜん息児水泳教室は、スポーツセンター改修のため、9~12月の開催となった。参加人数は平成28年度以前と比較して減少傾向にあるため、医師会経由で医療機関にチラシ掲示をお願いした。大きな効果は見られなかったが、翌年度以降も継続する予定 理学療法士を講師に招いたり、各回テーマを変え実施した。この体操から、定期的にある自主事業の体操に参加につなげることができた。	予防対策課	保健予防係・内線2815
9	1-1-(2) 2-2-(2) No.46再掲			からだコンディショニング事業(福祉センター江戸川橋・湯島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防ぎ、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行う。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施した。 【江戸川橋・湯島共通】 1クール12回×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 640人・湯島 606人	✓	-	✓	-	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)	
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (3)スポーツをともに楽しむ意識の醸成						2-2-(3)							
10	1-1-(2) 2-2-(3) No.45再掲			健康まち歩き	「体力アップフェア」の後継事業として、シニアプラザ事業で複数行っていたイベントのうち「健康まち歩き」を一般事業化してH28年度から継続実施。 学生が年度当初から企画作成した区内探訪コースを、専門の講師による正しい歩き方教室を受講後、学生の案内で歩く。多世代交流を通じて高齢者の生きがい及び健康の向上を図る。	7月実施 平成30年9月25日(火) 本大会 平成30年10月27日(土) 学生ボランティア17名・文高連8名・一般区民23名・大学関係者2名・区関係者10名(講師2名、看護師1名、高齢福祉課7名) 計:60名	✓	-	-	-	健康運動士によるウォーキング講座を受講後、学生が作ったコースをおしゃべりやカフェを楽しみながら一緒に散策した。文高連会員や学生による細やかな配慮のもと、参加者の満足度も高く、心身ともに元気に過ごせる地域づくりに寄与することができた。今後もより多くの方に参加していただけるよう、周知に努めていく。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (4)障害者スポーツの普及振興						2-2-(4)							
11	2-2-(2) 2-2-(4) No.228再掲			スポーツ活動への参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレクリエーションに関する機会を提供する。	心身障害者・児通所施設合同運動会 10月6日(土)開催 区内10施設 参加者数 652人 参加大学・貞静学園短期大学	-	-	✓	-	平成27年度から若さみなぎる貞静学園学生の参加により、運動会を盛り上げている。学生にとっては、障害者と接する学びの機会となっている。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (1)気軽にスポーツを楽しめる環境の整備						2-3-(1)							
12	2-3-(1)			児童館合同卓球大会	スポーツを通じて各児童館の交流を図る。	児童館合同卓球大会 平成31年3月27日(水)開催	-	-	✓	-	日頃の各児童館における卓球活動の成果を発表し、児童館利用児童の相互交歓及び親睦を深めることができた。	児童青少年課	児童係・内線7031
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (2)スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化						2-3-(2)							
13	2-3-(2)			①脳の健康教室サポーター養成 ②文の京介護予防体操推進リーダー養成 ③転倒骨折予防ボランティア指導員養成	介護予防体操等を普及するため、区民指導者等を養成し、地域における自主的な活動の推進役とする。	養成講習及び研修会等参加者数 ①13人 ②192人 ③6人	-	✓	✓	-	高齢者の介護予防の活動は広がってきており、多くの区民に介護予防ボランティア指導者として担い手の役割を担っていただく必要がある。担い手となることで高齢者の社会参加と生きがいづくりにつながるため、今後も引き続き養成に力を入れる必要がある。	健康推進課	介護予防係・内線3350 地域保健担当・内線2836
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (3)スポーツボランティア等の活動支援						2-3-(3)							
調査結果Bは該当事業なし													
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (4)スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備						2-3-(4)							
14	2-3-(4)			ファミリースポーツデーにおける生活習慣病予防教育	ファミリースポーツデー(スポーツセンター)に我所した方を対象に、スモーカーライザーによる一酸化炭素測定とタバコの分解実験を行った。	呼吸中一酸化炭素濃度測定とタバコの実験を行った。体成分分析測定、栄養相談、健康相談を併せて実施した。 来所者422人	✓	-	-	-	スポーツ施設を利用する人に、自身の健康維持に係る振り返りの機会をつくり、健康チャレンジ宣言に参加をもらった。	保健サービスセンター	本郷支所・内線2850
15	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.9再掲			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課	CATV担当・2126

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
						目標1	目標2	目標3	目標4			
16	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.10再掲			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 124,500部 8回 8月10日～12月25日 125,000部 10回 1月25日～3月25日 125,500部 5回 計年23回 1月1日号 99,890部 年1回	✓	✓	✓	-	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課 広報担当・内線2121
17	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.11再掲	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課 報道・ホームページ担当・2123
18	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) No.12再掲			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成30年度発行) 次回発行:令和2年度7月予定	✓	✓	✓	-	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知することができる	広報課 広報担当・内線2121
19	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2) No.13再掲			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和4年度発行)	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課 広報担当・内線2121
20	1-1-(1) 2-3-(4) No.29再掲		教03-01	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行う。	歯と口の健康づくり2018 参加者203名、学校保健会特別講演 参加者121名、学校保健・給食大会 参加者数319名	✓	-	-	-	3つの事業により、多くの区民に講演を聞いてもらうことができた。区報等でも周知はするが、区立小・中学校、幼稚園を通じて呼びかけるため、ほとんどの来場者が保護者となっていることから、広く一般の区民の来場を呼び掛ける必要がある。	学務課 学校保健担当・内線3529
21	2-2-(1) 2-3-(4) No.221再掲		教03-01	健康・体力増進事業	大学等と連携し、区立幼稚園・小学校における運動能力調査結果に基づき、指導員等を派遣する。また、健康トレーナーによる巡回相談や健康教室の開催、がん教育に関する授業及び講演会を行う。	健康トレーナーを全20校の小学校へ派遣し健康相談等を行った。大学と連携し幼稚園10園で体力テストを実施し活用した。小中17校へ医師や教授等を派遣しがん教育を実施した。がん教育シンポジウムを実施し、34名の来場があった。	-	✓	✓	-	健康トレーナーや体力向上アドバイザーの派遣により、各幼稚園・小中学校の健康課題が改善されている。保護者へも啓発していくことが課題である。	教育センター 科学教育事業担当・内線3550
2 スポーツ 4. スポーツを通じた仲間づくりと交流 (1)スポーツを通じた仲間づくり											2-4-(1)	
調査結果Bは該当事業なし												
2 スポーツ 4. スポーツを通じた仲間づくりと交流 (2)スポーツを通じた交流											2-4-(2)	
調査結果Bは該当事業なし												